

学習日 月 日 年 組 番 氏名

1 次の文の(ア)~(ウ)にことばを入れなさい。(p. 214, 215)

時間や長さ、重さをはかって得られる測定値や、四捨五入して得られた値などは、真の値ではないが、それに近い

(ア)である。

(ア)から真の値を

ひいた差を(イ)という。

(イ)=(ア)-(真の値)

2010年の国勢調査では、岩手県の人口は1,330,147人であるが、1万人を単位として1330000人と近似値で表すことがある。この近似値で使われている1, 3, 3は正確な数字で信頼できる。

近似値を表す数のうち、1, 3, 3のように、信頼できる数字を

(ウ)という。

2 ある数aの小数第2位を四捨五入したら、3.7になりました。このとき、次の問に答えなさい。(p. 214)

(1) aの値の範囲を不等号を使って表しなさい。

答

(2) 誤差の絶対値は大きくてもどのくらいと考えられますか。

答

3 ある品物の重さをはかったら6500gでした。このときの有効数字を6, 5として、この重さを(整数部分が1けたの数)×(10の累乗)の形に表しなさい。(p. 215)

答

4 ある整数aを12でわり、商の小数第1位を四捨五入すると6になりました。このようなaのうちで、もっとも大きい整数を求めなさい。(p. 214)

答

5 地球と月の平均距離は、約384400kmです。有効数字が3, 8, 4, 4であるものとして、この距離を(整数部分が1けたの数)×(10の累乗)の形に表しなさい。(p. 216)

答

6 次の問に答えなさい。(p214~p216)

(1) $5.400 \times 10^5 \ell$ は、何 ℓ の位まで測定したものですか。

答

(2) 子犬が産まれたので、最小の目もりが1gのはかりではかったら432gだった。このとき、子犬の重さの真の値をa gとすると、aの範囲を不等号を使って表しなさい。

答

1

時間や長さ、重さをはかって得られる測定値や、四捨五入して得られた値などは、真の値ではないが、それに近い

(ア 近似値)である。

(ア 近似値)から真の値を

ひいた差を(イ 範囲)という。

(イ 範囲) = (ア 近似値) - (真の値)

2010年の国勢調査では、岩手県の人口は1,330,147人であるが、1万人を単位として1330000人と近似値で表すことがある。この近似値で使われている1, 3, 3は正確な数字で信頼できる。

近似値を表す数のうち、1, 3, 3のように、信頼できる数字を

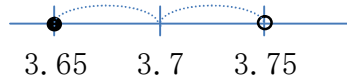
(ウ 有効数字)という。

2

(1) 四捨五入して3.7であるから

答 $3.65 \leq a < 3.75$

(2) 0.05 0.05



誤差の絶対値は0.05

答 0.05

3

$$6500 = 6.5 \times 1000 = 6.5 \times 10^3$$

答 $6.5 \times 10^3 \text{ g}$

4

$$5.5 \leq \frac{a}{12} < 6.5$$

$$66 \leq a < 78$$

この範囲で最も大きい整数は77

答 77

5

$$384400 = 3.844 \times 100000 \\ = 3.844 \times 10^5$$

答 $3.844 \times 10^5 \text{ km}$

6

(1) 5.400×10^5

$$= 5.4 \times 100000$$

$$= 540000 (0) \text{ であるから}$$

1000の位まで測定している

答 1000

(2) 四捨五入して432gであるから

$$431.5 \leq a < 432.5$$

答 $431.5 \leq a < 432.5$